

平成28年度市民討議会提言内容の進捗状況一覧表 (平成28年度末現在)

討議テーマ1	多治見で私がおすすめしたいところは？	
提言	多治見の素晴らしさを日々体感している市民が、自ら感じる多治見の魅力について話し合いました。この話し合いが次項以降の討議テーマを議論する土台となっています。ここで出た意見を今後の観光施策の参考にして頂きたいです。	
詳細	進捗状況	関係部署
1) 景観・歴史に関する意見 永保寺、修道院をはじめとする歴史的建造物、虎渓公園、潮見の森などからの眺望、桜、シデコブシ、ホタルや紅葉などの四季の風景などに魅力を感じるとする意見が数多く出ました。また、これらを数カ所まとめて巡る意見も多くありました。		
2) 体験に関する意見 地場産業である美濃焼に関連した作陶（ロクロ、絵付け）、モザイクタイルアート等の体験や、甘原のイチゴ、ブルーベリー狩り、地球村での自然体験などの意見が数多くありました。		
3) グルメに関する意見 うなぎ、たじみそ焼きそば、うどん、ラーメン、和菓子やケーキなどのスイーツ、おいしいパン屋や喫茶店が多いなど食文化に対する意見が数多くありました。		

討議テーマ2	あなたがPRするならどんなことをしますか？	
提言	市民は、自らが多治見の理解を深め、多治見ブランドを確立していくことを望んでいます。	
詳細	進捗状況	関係部署
1) 市民に多治見の魅力がPRできるような手法を求めます。 市民が多治見のことを深く理解し、それを伝えることができるような機会の創出を求めます。 ・スタンプラリーや市民向けバスツアー等、多治見を知ってもらう機会の提供を求めます。 ・SNSやメディア等をより活用し、多治見の魅力を広く市民に知ってもらう手法を求めます。	・市民にもっと多治見の名所を知ってもらうことを目的に、市民向け観光バスツアー（平成27年8月と平成28年11月）を実施。 ・平成28年度に、多治見市内の飲食店を市民にもっと知ってもらい、美濃焼の振興を目的として、グルメスタンプラリーを実施。巨匠のぐい呑みがもらえるのが好評であったため、次年度も開催を予定。（柳華柳が開催する「本町オリベストリート」スタンプラリーや「本町おひなさままつり」スタンプラリー等、事業者主催のものもあります。 ・平成27年度には、ビーコンを使ったアプリ「たじみぷらり」を製作し、iPhoneでのスタンプラリーを行いました。 ・市ホームページや公式フェイスブックや駅に設置されたデジタルサイネージを活用し市の魅力を発信。	産業観光課 秘書広報課 (終了)
2) 多治見の地場産業をより活用することを望みます。 地場産業を一人でも多くの市民が体験できることを望みます。 ・意匠研究所等と連携し、市民が気軽に絵付けや作陶体験できるような環境を望みます。 ・陶器まつり等のイベントを盛り上げるために、市が企業と協力し合える関係を望みます。	・意匠研究所は市民向けに作陶講座を行っています。また、陶芸体験をより多くの市民の皆様へ体験していただくため、インターネットからも気軽に申込できるよう平成27年度に地方創生交付金を活用し、国内最大手のインターネット体験申込サイトであるアソビューから気軽に申込できる環境整備ができました。 ・市内の各小学校には、窯や陶芸室が整備されており、小さい頃からやきもの文化に触れることができます。 ・多治見市は実行委員会の一員として様々な支援を行い協力体制を整えています。美濃焼祭は多治見市が中心の実行委員会、JRや美濃焼業界と連携して開催しています。	産業観光課 (終了)
3) 市民に愛郷心を持ってもらえるような環境づくりを望みます。 自分たちの住むまちのために動ける市民が増えるような環境を望みます。 ・市民が自ら観光名所の清掃作業を行えるような働きかけを望みます。 ・うながっぱステッカーの全戸配布等、うながっぱによる多治見のPRを求めます。	・観光協会に働きかけ、市民による観光施設の一斉清掃を行う日を設けるなどの提案をしていきます。 ・うながっぱを活用した多治見のPRは「うながっぱ隊」により行っています。夏の暑いシーズンには、4・0・9の付く7・8月に「うながっぱうちわ」や「うながっぱステッカー」を配布したり、名古屋方面からのテレビ局など各メディアからの多くの取材に応じるなどして多治見市のPRに貢献するとともに、市民の皆様へ愛着をもっていただけるよう努めています。引き続き「うながっぱ隊」の活動を推進していく方針です。	産業観光課 (終了)

4) 美しい景観を生かすための施設の充実を求めます。 修道院、永保寺等、魅力ある施設に触れることができる施設の充実を求めます。 ・遊歩道を整備する等、広く文化財を知っていただけるような環境の整備を求めます。 ・人が集まれるように道の駅や、うながっぱの待ち合わせ場所等の施設の充実を求めます。	・平成29年度中に、市で管理している永保寺のトイレの改修工事を予定しています。 ・遊歩道の整備についても必要性を感じていますが、多額の費用が必要ですので、今後関係者へ働きかけていきます。	産業観光課 (終了)
--	--	---------------

討議テーマ3	あなたでもできる観光開発		
提言	市民は、自らが多治見を知り多治見の魅力を広く伝えることが観光開発に繋がっていくと考えています。		
	詳細	進捗状況	関係部署
	1) 1人でも多くの市民が観光開発に前向きになれるような環境を求めます。 積極的に多治見の魅力を伝えたいと考える人を増やす仕組みづくりを求めます。 ・ボランティアを育成し、多治見の魅力を広く伝えることのできる人材を増やすことを求めます。 ・挨拶活動や清掃等、まちのために自主的な活動を支援できるような仕組みづくりを求めます。	・毎年春には、観光ボランティアガイド育成を目的とした観光に関する研修会を開催していますので、市民の皆さんの参加を呼び掛けます。 ・挨拶活動や清掃等については、全市的に取り組むべきものと考えます。まずは、討議テーマ2(1)～(3)の提案を頂いたように、一人でも多くの市民が多治見市に愛着を持っていただける様に取り組むことに重点を置いて多治見の観光推進をしていきます。	産業観光課 (終了)
	2) 市民同士が気軽に集まれるような環境を望みます。 多治見の魅力を伝えたいと考える市民同士が交流できるような場所の創出を求めます。 ・既存の公共施設を有効活用し、市民が気兼ねなく集まれるような働きかけを求めます。	・たじみ創造館内にある多治見市PRセンターには、ミーティングコーナーを設けています。多人数で交流を希望される場合は、観光協会を通じて利用できることを情報発信します。	産業観光課 (終了)
	3) 多治見を市内外の人に広くPRできるような仕組みづくりを求めます。 まだあまり知られていない魅力を広く知ってもらえるような手法を求めます。 ・10万人観光大使を目指すために、多治見アピール隊等を市民が率先して作ることでできるようなサポートを望みます。 ・SNSを活用し、多治見の魅力を広く伝えることのできるような体制を求めます。 ・多治見名産を贈答品などに活用するために多治見のロゴや公認シールを作成することを求めます。	・多治見アピール隊など多治見の観光を推進するグループがあれば、観光展などの様々な場面でのPRに同行していただき、活動していただきたいと考えています。 ・市政アドバイザーや市のフェイスブックに友達申請していただいている方々に、多治見市の情報を提供しています。 ・多治見の名産品などの活用に関しては、多治見市観光協会の法人化を機会に考えていただくよう勧めていきます。 ・メディア向けに多治見を取り上げていただけるような常に情報提供に努めていきます。	産業観光課 秘書広報課
	4) 個々のイベントを連携させる仕組みを望みます。 多治見で開催される祭りやイベントに積極的に参加できるような仕組みづくりを望みます。 ・広く市民が参加できるように、多治見の祭りを集中開催(夜通し祭りなど)することを望みます。 ・若者が集まれるようなイベント(3Dマッピング、デートスポット)の開催を望みます。	・多治見市内には様々な祭りやイベントがありますが、地域に根差した祭りから陶器にまつわる祭りまで様々で、それぞれに主催する団体があります。全てを網羅することは難しいですが、できる限り日程や場所を把握し、市民の皆様にお知らせすることを心掛けています。引き続き、眼に留まりやすい情報提供に心掛けます。 ・「花火大会」は「みんなでてりゃあ夏まつり」と、「たじみ茶碗まつり」や「美濃焼祭」、「陶の里フェスティバルin市之倉」「幸兵衛窯 秋のいろどり市」も開催期間を合わせるなど、バラバラに行っていた催事を連携させるように各課とも連携し、取り組んできました。 ・駅北では、虎溪用水広場を活用したイベントを企画していますし、プロジェクトマッピングを活用した賑わい創出施設を民間事業者が運営することになっています。	産業観光課 (終了)